

東南アジア漁業開発センターは、資源管理研究の能力向上の一環として、九州大学大学院農学研究院附属アクアバイオリソース創出センター唐津サテライトに研修生を派遣します。

東南アジア漁業開発センター（SEAFDEC）は、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の10カ国と日本を加盟国とする国際機関で、東南アジア地域の食料安全保障のため、持続可能な漁業と養殖業を支援しています。

事務局をタイに置き、マレーシア、フィリピン、インドネシア、シンガポール及びタイの技術的専門部局が加盟国と連携しつつ、活動を実施しています。

このうち、マレーシアにある海洋水産資源開発管理部局（Marine Fishery Resource Development & Management Department :MFRDMD）は、東南アジアにおける持続可能な海洋水産資源管理を行うため、資源評価などの手法について加盟国への指導を行っております。

今回、MFRDMDの研究職員であるエイニー・ナニス・ビリー（Ms.）は、イワシやサバ、アジなどの小型浮魚類について成熟・産卵メカニズムや加入量に影響を及ぼす母性効果の研究手法の習得のため、11月6日から11月17日の日程で、九州大学大学院農学研究院附属アクアバイオリソース創出センターの協力の元、同センター唐津サテライトにおいて研修を受けることとなりました。

同センター唐津サテライトでは、社会的に認知されているQサバに関する研究に代表されるように、小型浮魚類の成熟・産卵メカニズムや母性効果に関する研究経験が豊富であり、この度、SEAFDECの研修の申し入れを受け入れて頂きました。

本研修により、小型浮魚類の繁殖生態に関するMFRDMDの研究能力が向上することだけでなく、東南アジアの研究者と日本の研究者、研究機関との交流を行うきっかけとなり、またSEAFDECの指導を通じて東南アジア諸国の研究者が日本の研究手法を導入することが期待されます。



Ms. エイニー・ナニス・ビリー

(SEAFDEC 海洋水産資源開発管理部局所属)

問合せ先：

東南アジア漁業開発センター（SEAFDEC）

海洋水産資源開発管理部局（MFRDMD）次長 廣田

TEL:+60-129-81-2602 e-mail:hirota@seafdec.org.my